

ふれあい合宿特集

熊中だより

雨に見舞われ、飯ごう炊さんの片付けに時間がかかったふれあい合宿 1 日目は、夕べのつどいやドッジボール大会の開始時間が大きくずれ込んでしまいました。2 日目のキャンドルの集いでは先生方に叱られる場面もありました。

楽しいことばかりではなかった 3 日間ですが、生徒の作文からは、楽しいことから学び、叱られたことから学んだ様子が伝わってきました。「熊中だより 4 号・5 号」では、ふれあい合宿特集として生徒作文(抜粋)を掲載します。

ふれあい合宿で一番心に残ったことは、野外調理です。私は料理が好きでいつもやっているけど、火の調節がとてもむずかしかったです。でも、みんなと協力してとてもおいしいカレーができました。

ふれあい合宿でがんばったことは、自分の仕事をきちんとなしとげることです。専門委員の仕事やふれあい合宿での係の仕事を任されたとき、自分の仕事にやりがいを持ってやりました。

ふれあい合宿で学んだことは、集団生活の難しさです。きちんとけじめがつけられなかったこと、準備をしてくれた人の気持ちを考えなかったことなど、キャンドルの集いやいろんなときの反省があります。これらを忘れず、今後の学校生活に生かしていきたいです。

1 年 2 組 則松 帆乃香

校長室通信
第 4 号

北九州市立熊西中学校
校長 安部朋恵



三日間のふれあい合宿では、鱒淵ダムウォークやキャンドルの集いなどの、たくさんの出来事があった。その中でも楽しかったことは、キャンドルの集いの校歌コンクールやジンギスカンダンスだ。

前者では肩を組んで、大きな声で歌うことができ、友情をより深めることができたと思う。後者では、恥を捨ててやってみるだけで、ここまで楽しくなるのだなと思った。

でも、その後に、一番大きな失敗をしてしまった。ただでさえ、時間にずれが生じたことが多かったにもかかわらず、数名が笑ってしまい、それを注意することもできなかった。

…(中略)…

それらの失敗から学んだ教訓としては、「第一に考えること」、「こまめに時間を確認する」の二つだと思った。

1 年 1 組 小谷 健一郎